

外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「内視鏡用シングルユース先端アタッチメント (ENDOCUFF VISION[®]) の使用に関する観察研究」 への協力のお願い

第一内科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2025年7月1日～2025年9月15日の間に、当科において、大腸内視鏡検査を受けられた20歳以上の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2027年3月31日

研究目的・利用方法：

大腸ポリープを、先端フードを用いることで、ポリープを見落とさないように発見できるようになるかを検証する研究です。海外の報告では先端フード (ENDOCUFF VISION[®]) 使用することでポリープが検出されやすくなると報告されており、当院において、実際にどの程度その恩恵が得られているのかを検討します。

研究に用いる情報の種類：

下記の情報につき、診療録から取得します。これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

患者背景：年齢、性別、身長、体重、BMI、手術歴

検査環境：鎮痙剤の使用、鎮静剤の使用、腸管洗浄度

検査結果：大腸ポリープ検出の有無、大腸ポリープ検出数、ポリープの形態・サイズ、挿入・観察時間、有害事象

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025年11月7日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

さい。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 第一内科

電話番号：058-230-6308

氏名：谷口 裕紀

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部

氏名：井深 貴士

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel : 058-230-6059

E-mail : rinri@t.gifu-u.ac.jp